

令和7年8月8日

A I と高齢者の“二刀流”でサポート！ ～高齢者によるデジタルサポートチームを結成～

河内長野市では、総務省の自治体フロントヤード改革モデルプロジェクトに採択されたことを受け、「書かない窓口」など、いわゆる「3ない窓口」の実現や住民との接点の多様化を目指した様々な改革に取り組んでいます。

このたび、8月1日（金）よりA Iを搭載した申請書作成機と庁舎案内機を庁舎内に設置し、A Iを用いた申請書作成機による「書かない窓口」とA I庁舎案内を開始しました。

また、A Iなどのデジタル機器類に不慣れな高齢者世代を、同じく高齢者世代により結成された「デジタルサポートチーム」が端末類の操作をサポートします。

自治体のフロントヤード改革にはデジタル化が避けて通れませんが、高齢者のデジタルデバイス解消も大きな課題となっています。

今回の取り組みはA Iのサポートでデジタル端末を直感的に操作することと、同世代によるサポートの“二刀流”で高齢者の苦手意識を払しょくさせることを目的としています。



【問い合わせ】

河内長野市 総務経営局 市民に寄り添う部 市民窓口課
(電話：0721-53-1111)